

～人間ドックのご案内～

当院で定期的に人間ドックをご利用いただきますと検診データの蓄積により、担当医の指導内容も的確なものとなります。また、要精密検査や要治療となった場合でも、当院の各診療科をご紹介させていただくことにより、早期の治療が可能になっております。

ご利用に当たって、35歳以上で伊丹市の国民健康保険に6ヶ月以上加入の方は、健康保険証・印鑑を持参して、市役所1階の国民健康保険担当窓口で「利用券」を発行してもらおうと費用の一部助成制度があります。また、健康保険組合等加入者の方の助成制度につきましては勤務先にご確認の上お申し込みください。

コース、利用料金は、次のとおりです。

- ①2日ドック（ホテル泊） 夕食付 63,000円（消費税込）
- ②2日ドック（通院2日） 47,000円（ // ）
- ③1日ドック（日帰り） 38,000円（ // ）

※①、②は月火・水木コースの2種類。③は月～金の各曜日のご利用が可能です。

※平成22年7月からオプション検査に「ハリコバクター・ピロリ+ペプシノーゲン検査」が追加されました。 検査料金は3,000円です。

お申し込み、お問い合わせは、

1階人間ドック棟 人間ドック受付まで

電話番号 072-777-3773（人間ドック担当 内線2583）

～敷地内全面禁煙について～

当院では、禁煙推進学術ネットワークの活動に賛同し、健康増進の観点から、平成22年6月より毎月22日(スワンスワン)を敷地内全面禁煙といたしました。ご理解とご協力をお願いいたします。



眼科・皮膚科・歯科口腔外科健康教室

～お気軽にご参加ください～

- [日 時] 平成22年11月20日(土) 13:00～15:30
- [場 所] スワンホール 3階 多目的ホール 伊丹市昆陽池2丁目1番地
- [参加費] 無料



☆ 医師の人事異動がありました。

採用		退職	
(平成22年4月19日)		(平成22年4月30日)	
循環器内科副医長	村上 智江	皮膚科 医長	西村 明子
(平成22年7月1日)		(平成22年5月31日)	
麻酔科非常勤医師	田宮 みゆき	循環器内科非常勤医師	福田 修久
(平成22年7月12日)		(平成22年8月31日)	
産婦人科 医員	安井 悠里	産婦人科 部長	山田 美津子
(平成22年8月1日)		泌尿器科非常勤医師	山崎 健史
産婦人科 医長	富家 真理		

～ 保険医療機関では毎月、患者様に保険証の提示をお願いしております。月初めには初診受付で保険証の提示、確認にご協力くださいますようお願いいたします。～

市立伊丹病院広報誌

itami itami

すこやか

第37号

2010/9/1

編集：市立伊丹病院患者サービス向上委員会

発行：市立伊丹病院 TEL 072-777-3773

<http://www.hosp.itami.hyogo.jp/>

itami itami



私が泌尿器科医になって30年余りになります。この間の医療の各分野における進歩は目覚ましいものがあり、ここでは泌尿器科手術の変遷を紹介し当科の今後の方針を述べたいと思います。

まず一番大きな変化は尿路結石の治療です。私が研修医になった頃には腎結石や尿管結石などの開腹手術が数多く施行

されていましたが1980年代に体外衝撃波結石破碎装置が開発され体を切らずに治す治療が瞬く間に尿路結石治療の主流となり、我々にとっても大きな衝撃でした。この治療で破碎困難な結石に対してはその後に開発された内視鏡の一種である尿管鏡を用いた治療が施行されるようになり、当院でも開腹による結石除去手術は殆どなくなりました。前立腺肥大症や小さな膀胱腫瘍に対する内視鏡手術は1970年代から行われていましたが術者一人しか観察できず、後進の指導が困難でしたが小型テレビカメラやビデオモニターの医療への応用により鮮明な画像を複数の人が同時に観察できるようになったため若い医師達の技術習得が容易となり急速に普及しました。

さらに、これらの医療用光学機器の進歩により体表から小さな穴をあけてカメラを体内に挿入して行われる腹腔鏡手術が行われるようになり1991年にアメリカで腎の腹腔鏡手術が始まり、その後に副腎や前立腺の手術も行われるようになりました。また、1998年には低侵襲で安全な手術を目指してミニマム創内視鏡下手術が日本で開発され、これまでに行われていた開腹手術をできるだけ小さな皮膚切開のみで内視鏡を用いて視野を確保し、狭い術野での手術が可能となりました。但し、これらの内視鏡下手術は病巣の大きさや広がり等により個々の症例で適応を判断する必要があります。

当院でも腎および副腎等の腹腔鏡手術や前立腺のミニマム手術を取り入れた低侵襲手術を始め、早期治癒による入院日数の短縮を図りたいと考えています。

診療部長（兼）泌尿器科主任部長 森川 洋二

市立伊丹病院 ボランティア募集

各ボランティア名と活動内容

「せせらぎ」

- * 院内ご案内：総合受付にて受診手続きの案内や、子守などをします。
- * ベットカバーシート作り：ロールシートを必要な長さに切ってたたみます。
- * お花の水遣り：中庭のお花の水遣りをします。
- * ブックサービス：毎週木曜日に入院患者さんへ図書の貸し出しをします。
- * ソーイング：手術着などのほつれのつくろいなどをします。

「ハイジア」

- * 院内のミュージアムの管理をします。
- * 外来1・2階のミュージアムの管理と調整をします。

「愛リス」

- * 1階総合ロビーにフラワーアレンジメントを飾ります。

「笑笑」

- * 病院前玄関花壇と職員駐車場側花壇の花の植え替えをします。
- * 草引きや剪定などのお世話をします。

「昆陽池縁の会」

- * 病院中庭の花壇の花の植え替えなどのお世話をします。
- * 草引きや剪定などのお世話をします。

「たんぼぼ」

- * 聴覚障害者の方へ手話通訳をします。
- * 聴覚障害者への医療講演会の開催をします。
- * 手話サークル活動を毎週1回します。



申し込み方法

ぜひご自分の特技を生かして下さい。上記のどのボランティア活動でも結構です。下記の受付までご連絡ください。心からお待ちしています!!

市立伊丹病院 看護部

TEL 072-777-3773

活動については各担当者が説明させていただきます。

ガーデンコンサートが開催されました

昨年に引き続き、当院の中庭「花と安らぎの空間」にてガーデンコンサートが開催されました。

平成22年5月12日午後4時から伊丹シティフィルハーモニー管弦楽団所属のAmuse Brass Ensembleの5人による金管楽器アンサンブルが演奏され、患者さんを中心に約70名の観客で賑わいました。

新緑の中で聞く爽やかな演奏に病院にいることを忘れ、酔いしれました。

患者サービス向上委員会では、今後も夏、冬にロビーコンサートの開催を企画し、患者さんの癒しのひとときを提供していきたいと考えていますので、ぜひ、お越しください。



「かかりつけ医」からの紹介状をお持ちください

「かかりつけ医」とは日ごろ、具合が悪くなったときや、持病があり定期的に診察を受ける「私のかかりつけのお医者さん」のことです。入院や精密検査が必要になった時は症状にあった病院を紹介してくれます。

当院を初めて受診される方は、日ごろから受診している「かかりつけ医」からの紹介状をお持ちください。

「かかりつけ医」からの情報提供により、当院においてもより継続性のある質の高い医療を提供できます。また、待ち時間の短縮や、検査が重複することを防げます。ですから是非、「かかりつけ医」の紹介状をご持参ください。

例外として、突然の大ケガなどで直接、受診される場合があると思いますが、その時は「〇〇医院にかかっている」とお伝えください。当院の医師と「かかりつけ医」が連絡を取り合い、あなたにとって一番よい治療方針を考えていきます。

